

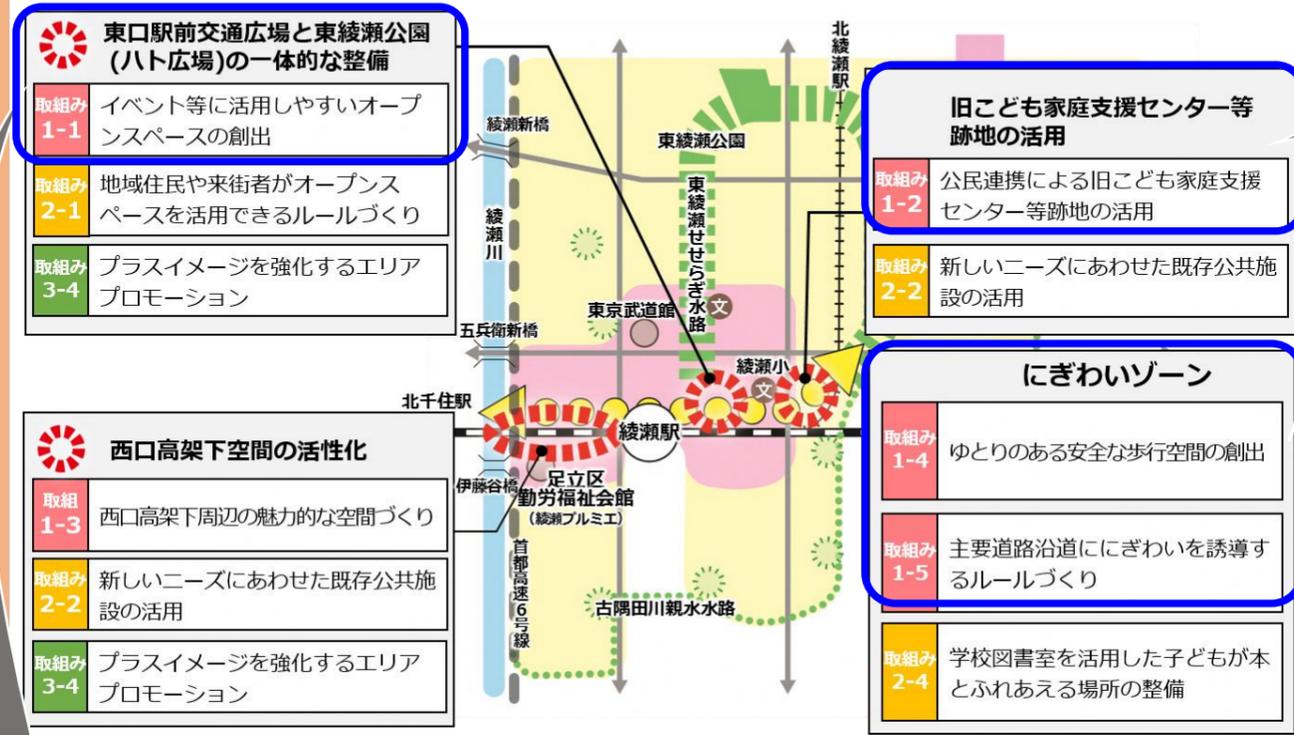
◆ 地区まちづくり計画の見直し(案) ◆

地区まちづくり計画見直しの3つの視点の概要

綾瀬ゾーンエリアデザイン計画とアンケート結果をもとに、**主な3つの視点**をまとめました。今後は、より具体的な内容を盛り込んだ「地区まちづくり計画」の見直しを進めていきます。

綾瀬ゾーンエリアデザイン計画とまちづくりの取組みの全体像

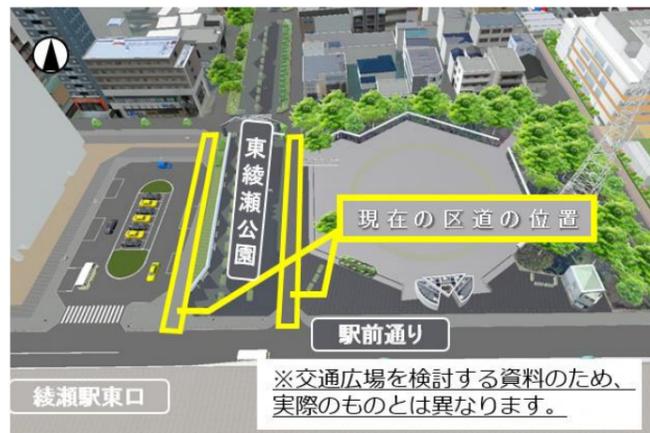
令和3年12月に策定した「綾瀬ゾーンエリアデザイン計画」は現在の綾瀬ゾーンが持つ「強み」と「弱み(課題)」を把握・整理し、区の基本計画や都市計画マスタープラン等を土台としつつ、まちの将来像=エリアデザインを描いたものです。



◆綾瀬ゾーンエリアデザイン計画を一部抜粋

1 ~東口駅前が変わります~
綾瀬駅前交通広場と東綾瀬公園の一体的な整備

令和3年10月に事業者より駅前交通広場用地を取得しました。令和2年7月に策定した「地区まちづくり計画」には、交通広場の計画が盛り込まれていないため、今回、駅前交通広場の検討をしている東綾瀬公園との一体的な整備についてなどを記載していきます。



2 ~区と民間事業者の連携で~
旧子ども家庭支援センター等跡地の活用

旧子ども家庭支援センター等跡地には、「にぎわい機能」として何が必要か精査し、「既存公共施設の再配置」を含めた活用について、公募による民間事業者の導入など**公民連携**を進めていきます。

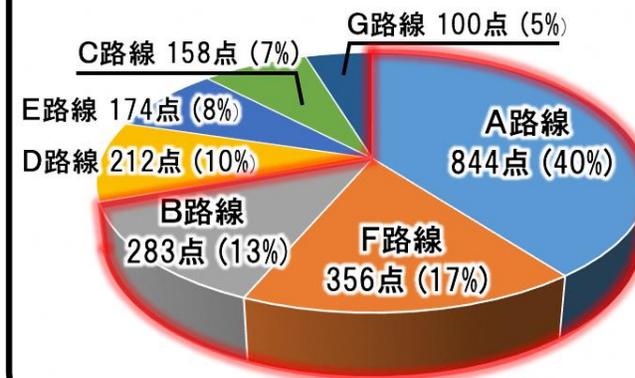


3 ~さらなるにぎわいを誘導~
駅前開発地周辺のまちづくり

アンケートでは、A・B・F路線のにぎわい創出についての要望が多くありました。その他の路線も含め、アンケート結果をもとに、回遊性ににぎわいを創出するための店舗等誘導、壁面後退によるゆとりある歩行空間の創出など、必要に応じた建物の用途や形状について検討していきます。



最もにぎわってほしい通り



まちのにぎわいとして必要なもの
(回答の多かった上位3項目)

順位	項目	人数(人)	割合(%)
1	生活に必要な店舗	319	83.7
2	歩きやすく安全な歩行空間	291	76.4
3	魅力的で個性的な店舗	185	48.6